



# 轟水源のカワニナの殻頂はなぜ欠けているのか

## はじめに

### カワニナとは

カワニナ科に分類される巻貝の一種。東アジアの淡水域に棲む細長い巻貝であり、殻本体の色は白。多くは鉄分の付着により黒っぽく見える。川、用水路、池沼などの淡水底に生息する。

## 背景

轟水源周辺のカワニナの殻頂が欠けていることを知り、興味を持った。

カワニナの殻が炭酸カルシウムで構成されていることを知り、水に溶けることで殻頂が欠けると予想し、水質と殻の融解度について調べることにした。

## 研究方法

- ① 轟水源とその下流の川でカワニナを捕獲しノギスで殻長と殻幅を測る
- ② カワニナの溶けている殻頂を予測して計測し、どのくらい殻が融解しているかを調べる
- ③カワニナが生息している場所の水質を調べ、殻の融解度と関係をまとめる

## 結果

現在、私たちは轟水源で約100匹、下流の川で約30匹の合計130匹の計測を行いました。しかしカワニナの殻頂が溶ける理由と水質の関係についての調査はまだ行っていません。



下流に生息しているカワニナ



轟水源下流の用水路



ノギスを用いた計測

カワニナ大きさ		
殻長	殻幅	殻長溶け率
19.86	8.62	
21.27	9.35	
28.07	11.55	
22.72	9.39	
26.74	11.37	
30.41	12.2	
25.13	10.51	
23.27	9.53	
21.19	9.46	
22.82	10.82	
26.85	10.11	
20.17	8.82	
24.6	10.78	
20.91	9.92	
27.1	10.85	
22.21	9.35	
20.04	9.57	
19.06	9.1	
19.31	9.49	
10.65	9.94	
22.62	10.04	平均

採取したデータの一部 平均

## 考察

もっとデータが必要であるため、引き続きカワニナの計測を行う。同時に水質の調査を行い、融解度との関係性があればカワニナの殻頂が溶けにくい環境の作り方などの発展した研究を行ってみたい。

## 感想

今回の研究はテーマが決まるまでにもかなり時間をかけてしまい、研究自体に費やす時間があまりとれなかったのが反省点です。

## 参考文献

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%AF%E3%83%8B%E3%83%8A>

